



平成 13 年 9 月 19 日

東京都目黒区

「新しい庁舎の利用計画を考える会」御中

社団法人 日本建築家協会 (JIA)
関東甲信越支部 支部長 服部 範二
同保存問題委員会 委員長 篠田 義男

『旧千代田生命本社ビル』の保存活用に関する要望

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴区におかれましては、日頃より建築文化の継承に深く理解をお示しになり、また当会の活動へも積極的にご支援を賜り、深く感謝致します。

さて、このほど貴区が旧『千代田生命本社ビル』を取得される予定という報道に接し、大変喜ばしく思っております。ご承知の通り、この建物は 1966 年、日本を代表する建築家・村野藤吾(故)氏により設計され、氏の一連の建築作品の中でも重要な位置を占める作品であります。そうした建築を含む敷地の全てを、公共機関である目黒区が取得され、建物を解体するのではなく、それを活かし続けようとする姿勢を持っておられることは、スクラップアンドビルドが続く昨今の情勢の中であって賞賛に値する、誠に素晴らしいことと敬意を表する次第であります。

さて、このほど設立された貴「新しい庁舎の利用計画を考える会」は、今後区民を交え新しい庁舎の利用を開かれた形で検討していかれるものと存じます。その議論の過程の中で、あるいは具体的な利用計画の中で、耐震補強や内外装の模様替え方法等の論議が予想されるものと思われます。特に耐震補強に関しましては区民代表に建築構造家を加えて頂き、原形の意匠を損なわない補強方法を是非ともご検討頂きたく存じます。区民と行政とが一体となり、この珠玉のような建築の持つ「個性」を十二分に生かした利用計画を実現され、永く庁舎として使い続けられるよう、切にお願い致す次第です。

ここにあって保存活用に関する要望を提出させて頂き、真に価値ある保存活用をお願いするものであり、JIA 関東甲信越支部、並びに同保存問題委員会としましても積極的に支援、協力をさせて頂く所存であることを申し添えます。

敬具